

# 令和7年度 厄祓・歳祝

# 年末年始 行事

## 厄祓早見表

| 男性            |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 前厄            | 本厄            | 後厄            |
| 24歳<br>平成14年生 | 25歳<br>平成13年生 | 26歳<br>平成12年生 |
| 41歳<br>昭和60年生 | 42歳<br>昭和59年生 | 43歳<br>昭和58年生 |
| 60歳<br>昭和41年生 | 61歳<br>昭和40年生 | 62歳<br>昭和39年生 |
| 女性            |               |               |
| 前厄            | 本厄            | 後厄            |
| 18歳<br>平成20年生 | 19歳<br>平成19年生 | 20歳<br>平成18年生 |
| 32歳<br>平成6年生  | 33歳<br>平成5年生  | 34歳<br>平成4年生  |
| 36歳<br>平成2年生  | 37歳<br>平成元年生  | 38歳<br>昭和63年生 |
| 60歳<br>昭和41年生 | 61歳<br>昭和40年生 | 62歳<br>昭和39年生 |

## 歳祝

|             |                        |
|-------------|------------------------|
| かんれき<br>還暦  | 61歳<br>昭和40年生          |
| こぎ<br>古稀    | 70歳<br>昭和31年生          |
| きじゅ<br>喜寿   | 77歳<br>昭和24年生          |
| さんじゅ<br>傘寿  | 80歳<br>昭和21年生          |
| べいじゅ<br>米寿  | 88歳<br>昭和13年生          |
| そつじゅ<br>卒寿  | 90歳<br>昭和11年生          |
| はくじゅ<br>白寿  | 99歳<br>昭和2年生           |
| じょうじゅ<br>上寿 | 100歳<br>大正15年生 / 昭和元年生 |

厄年の年齢は、人の一生の中でも、体力的、家庭環境的、あるいは対社会的にそれぞれ転機を迎える時期であり、災厄が起こりやすい時期として忌み慎まれています。

厄祓いの前後に一年ずつ加え、前厄・本厄・後厄として三年間は万事を慎み、お祓いを受け、無病息災を祈ります。厄祓いは正月や節分(旧暦で節分を年の変わり目とする為)を中心に行われます。

還暦は、十干と十二支の組み合わせが六十通りあり、自分の生まれた年と同じ干支がまわってくるのはちょうど六十一年後になります。両親や祖父母をはじめ、一家のものが長寿であることほどおめでたいことはありません。還暦の祝いをはじめ、ある一定の年齢に達すると、一家そろって長寿の祝いをします。

※年齢は「数え年」

令和七年元旦より、左記早見表の通り厄年となります。当社の厄年のお祓いは団体の御祈禱を左記の通り執り行っております。

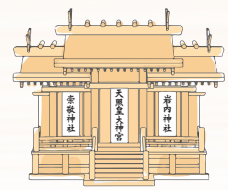
御祈禱を希望の方は、十二月下旬頃に「社報やしろ」を新聞折り込みしておりますので、「専用ハガキ」に必要な事項をご記入の上、投函いただきたく存じます。

又、電話及び団体の御祈禱以外でも厄祓いをしておりますので、詳しくは当社までご連絡下さい。

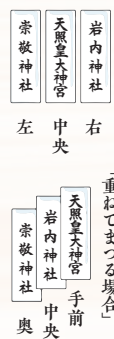
|      |            |      |                       |
|------|------------|------|-----------------------|
| 令和六年 | 十二月三十一日(火) | 午後三時 | 大祓式・除夜祭               |
| 令和七年 | 一月一日(水)    | 午前六時 | 歳旦祭並びにスケッチ船団・いか釣船団祈願祭 |
|      | 一月三日(金)    | 午後一時 | 第九十四回 四十二歳厄祓祭         |
|      | 一月七日(火)    | 午前八時 | どんど焼                  |
|      | 一月十二日(日)   | 午後一時 | 第九十回 還暦奉賽祭            |
|      | 一月十三日(月)   | 午後一時 | 第二十四回 古稀祝祭            |
|      | 一月十八日(土)   | 午後一時 | 第五十七回 喜寿祝祭            |
|      | 一月十九日(日)   | 午後一時 | 第九十一回 三十三歳厄祓祭         |
|      | 二月二日(日)    | 午後三時 | 第二十八回 節分祭             |

## お神札のまつり方

【三社造りの宮形】



【一社造りの宮形】



※ お神札の配置は神欄に向っての配置です。

## 夏越の祓 (六月三十日)

半年に一度の厄落としてある六月末の「夏越の祓」。さらに半年後の十二月末には、同様に厄除けをする「年越の祓」があります。この二つは対になる行事で、心身を清めてお盆や新しい年を迎えるもの。大晦日の年越し行事のような派手さはありませんが、夏越の祓も大切な節目の行事とされています。

大祓式により身も心も清浄にし新年を迎えるために一年間の間に知らず知らずの罪やけがれを形代に託し川に流します。合わせて一年間無事過ぎさせたいいただいた感謝を御神前に報告申し上げます。氏子皆様のご参列をお待ち申し上げます。



# お神札について

## 天照皇大神宮

「お伊勢さま」の名で、全国の崇敬をあつめる伊勢の神宮のお神札です。また、神宮大麻ともいわれ、八百万の神々の中心となる神さまで日本の国を守り、全てのものに恵みを与えてくださる神様です。

## 岩内神社神札

氏神さまのお神札は、住んでいる地域のお神札です。氏神さまは、それぞれの地域の心のよりどころで、私たちのまちや地域、そして家庭をお守りくださる神様です。

## 鎮火祭神札

鎮火祭のお神札は、各家庭の火の災いを防ぐお神札です。当社では毎年岩内大火の九月二十六日に鎮火祭を執り行いお神札に祈願しております。台所やポイラー室などにおはり頂き、お守りくださる神さまです。



歳神様

お正月に家々に迎えまつる歳神様は「歳徳神」「お正月さま」とも呼ばれ、新しい年の穀物の実りを約束してください。新しさを与えてくださる神様であり、いつも私たちを見守ってください。近年では神棚の下に垂らし、お祀りしている家が



恵比須様

七福神の一神として広く民間に信仰されており、釣竿を持ち鯛を抱えた福々しい姿の神さまとして親しまれています。漁村・農家や商売のされている方々に、招福の神さまとして多く祀られています。歳神さまと同様に、神棚の下に垂らしお祀りされています。

# 人生儀礼・御祈願

## 安産祈願



出産にあたり、お母さんと赤ちゃんの無事とお産が軽くなるようにお願いいたします。懐妊五ヶ月目の「戌の日」に腹帯(宮田帯)を締め、「赤ちゃんの健やかな発育を願います」「戌の日」を選ぶのは、犬のお産が軽いことから安産にあやかりたいという願いからだと言われています。

## 初宮詣

(お宮参り)



出産の無事と子供の誕生を奉告し感謝の念を捧げるとともに、赤ちゃんの健やかな成長を神様に見守ってもらえるようお願いいたします。御祈願の時期は、北海道では赤ちゃんが産まれて一〇〇日目前後の頃となります。なお、赤ちゃんの体調などを考え、期日の前後で最良の日を選びお参り下さい。

## 七五三詣



北海道では十月十五日を中心に、子供の無事の成長と更なるご加護を頂けるようお参りします。男の子は三歳と五歳に、女の子は三歳と七歳に御祈願します。

(九月下旬〜十一月下旬頃まで)

令和7年度  
七五三詣

- 三歳：令和五年生 【男女児】
- 五歳：令和三年生 【男児】
- 七歳：平成三十年生 【女児】
- 令和五年生

## 学業成就・合格祈願

学業の目標達成を祈願したり、また志望校への合格、就職試験、資格試験などの合格を御祈願します。

## 家内安全

家庭が円満でお幸せに、またご家族皆さまがご健康でありますように、ご神前にて祈願いたします。

## 交通安全

お車やオートバイなどを新しくご購入された際や、日頃から運転に関わるお仕事をされている方など、日々の交通安全をお祈りし、お祓いいたします。本殿で交通安全祈願祭をお受けいただいた後、お車のお祓いをいたします。

## 御祈願・その他

- 神恩感謝・五穀豊穣
- 大漁祈願・身体健全
- 商売繁盛・子授祈願
- 旅行安全・縁結祈願
- 病氣平癒・心願成就
- 重機清祓など
- 結婚式・地鎮祭・上棟祭
- 竣工式・新築清祓
- 中古家祓・神棚祓など

※他にも様々な祈禱がありますので、詳しくは当社までお問い合わせ下さい。

## 岩内神社社務所

電話〇一三五六一〇一〇四三

## 岩内神社

ウェブサイトを



[iwanai-jinja.com]